【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公表番号】特表2011-500221(P2011-500221A)
【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)
【年通号数】公開・登録公報2011-001
【出願番号】特願2010-530161(P2010-530161)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/00　　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成23年10月14日(2011.10.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
壁部分と、該壁部分によって画定される管腔とを備える、細長い部材と、
該管腔内に配置される半管状または管状カッターと
を備え、該壁部分は、第１、第２および第３の開口を備え、該第１、第２および第３の開口は、テザーが該第１および第２の開口を通って該カッターを回避するように通され、該第２および第３の開口を通って該管腔と交差するように位置付けられ、該カッターは、該テザーの第２の部分を同時に切断せずに、該テザーの第１の部分を切断するように構成される、装置。
【請求項２】
前記カッターは、管状である、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記第２および第３の開口は、テザーが該第２および第３の開口を通って延在する時に、前記細長い部材の前記管腔を横断して実質的に対角経路を形成するように位置付けられる、請求項１に記載の装置。
【請求項４】
前記細長い部材は、カテーテルを備える、請求項１に記載の装置。
【請求項５】
テザーを固定するように構成される係止要素をさらに備える、請求項１に記載の装置。
【請求項６】
前記細長い部材は、近位部分および遠位部分を有し、前記係止要素は、該細長い部材の該遠位部分に解放可能に連結される、請求項５に記載の装置。
【請求項７】
前記係止要素は、プラグと、該プラグを受容するように構成される係止管とを備える、請求項５に記載の装置。
【請求項８】
前記テザーの少なくとも一部は、体内組織に取り付けられるように構成されている、請求項１に記載の装置。
【請求項９】
装置であって、

細長い部材であって、それを通る第１の開口を有する第１の壁部分と、該第１の壁部分によって画定される管腔とを備える、細長い部材と、
該細長い部材の該管腔内に配置されるカッターであって、それを通る第２の開口を有する第２の壁部分を備える、カッターと
を備え、該装置は、テザーが該第１および第２の開口を通って延在する時に、該カッターの移動が該テザーを切断するように構成される、装置。
【請求項１０】
壁部分と、該壁部分によって画定される管腔とを備える、細長い部材と、
該管腔内に配置される半管状または管状カッターと、
該カッターが該壁部分を切断することを防止するように構成される、ガイドと
を備える、装置。
【請求項１１】
前記カッターは、管状である、請求項１０に記載の装置。
【請求項１２】
近位部分および遠位部分を有する、細長い部材と、
テザーを固定するように構成される係止要素であって、該係止要素は、該細長い部材の該遠位部分に解放可能に連結される、係止要素と、
該細長い部材の少なくとも一部を包囲するシースと、
該細長い部材内に配置されるカッターと
を備え、該シースは、該係止要素を該細長い部材から分断するよう、該シースが少なくとも部分的に引き込まれ得るように構成される、装置。
【請求項１３】
細長い部材と、
テザーを固定するように構成される係止要素と、
該係止要素を該細長い部材に解放可能に連結する、少なくとも１つの連結線と
を備える、装置。
【請求項１４】
前記細長い部材は、第１の相互係止特徴を画定する壁部分を備える、請求項１３に記載の装置。
【請求項１５】
前記少なくとも１つの連結線は、前記第１の相互係止特徴を係止して、前記細長い部材を前記係止要素に連結するように、および該第１の相互係止特徴を解除して、該細長い部分を該係止要素から分断するように構成される、請求項１４に記載の装置。
【請求項１６】
前記細長い部材は第１の段部を備え、前記係止要素は、前記第１の相互係止特徴が係止される時に該第１の段部と連結する、第２の段部を備える、請求項１５に記載の装置。
【請求項１７】
前記第１の相互係止特徴は、前記細長い部材の前記壁部分におけるスリットの形態である、請求項１５に記載の装置。
【請求項１８】
前記少なくとも１つの連結線は、前記第１の相互係止特徴を係止するために、前記スリットを横断して通されるように構成される、請求項１７に記載の装置。
【請求項１９】
前記係止要素は、プラグと、該プラグを受容するために構成される係止管とを備える、請求項１３に記載の装置。
【請求項２０】
前記係止管は、第１の開口を備える第１の壁部分を備え、前記細長い部材は、第２の開口を備える第２の壁部分を備え、前記少なくとも１つの連結線は、該第１および第２の開口を通過して、前記係止要素を該細長い部材に解放可能に連結する、請求項１３に記載の装置。

【請求項２１】
前記少なくとも１つの連結線は、前記係止要素の近位部分を前記細長い部材の遠位部分に解放可能に連結する、請求項１３に記載の装置。
【請求項２２】
テザーを切断するように構成されるカッターをさらに備える、請求項１３に記載の装置。
【請求項２３】
前記少なくとも１つの連結線は移動され、または切断されて、前記係止要素を前記細長い部材から分断するように構成されている、請求項１３に記載の装置。
【請求項２４】
壁部分と、該壁部分によって画定される管腔とを備える、細長い部材と、
該管腔内に配置されるカッターと、
該カッターが該壁部分を切断することを防止するように構成される、ガードであって、該ガードは該カッターを少なくとも部分的に包囲する、ガードと
を備える、装置。
【請求項２５】
前記ガードは、前記壁部分が湾曲する時に、該壁部分に接触するように構成される、請求項２４に記載の装置。
【請求項２６】
壁部分および該壁部分によって画定される管腔を含む細長い部材と、
該管腔内に配置されるカッターと、
該カッターが該壁部分を切断することを防止するように構成される、ガードであって、該ガードは該カッターに連結される、ガードと
を備える、装置。
【請求項２７】
前記ガードは、前記壁部分が湾曲する時に、該壁部分に接触するように構成される、請求項２６に記載の装置。
【請求項２８】
近位部分および遠位部分を備える、細長い部材と、
該細長い部材の該遠位部分に解放可能に連結される係止要素であって、該係止要素は、テザーを固定するように構成される、係止要素と、
該細長い部材の少なくとも一部を包囲し、少なくとも１つのスリットまたはそれを通る開口を備える壁部分を備えるシースと
を備え、該少なくとも１つのスリットまたは開口は、該細長い部材の該遠位部分の少なくとも一部が、該少なくとも１つのスリットまたは開口に進入できるように構成されるサイズを有する、装置。
【請求項２９】
前記少なくとも１つのスリットまたは開口は、前記細長い部材の前記遠位部分が、該少なくとも１つのスリットまたは開口を通過できるように構成される、サイズを有する、請求項２８に記載の装置。
【請求項３０】
前記細長い部材の前記遠位部分は、外面を有する壁部分と、該外面上に少なくとも１つの突出とを備え、前記少なくとも１つのスリットまたは開口は、該少なくとも１つの突出が、該少なくとも１つのスリットまたは開口に進入できるように構成される、サイズを有する、請求項２８に記載の装置。
【請求項３１】
前記細長い部材および前記シースのうちの少なくとも１つは、前記少なくとも１つの突出が、前記少なくとも１つのスロットまたは開口に進入しない、第１の位置から、該少なくとも１つの突出が該スリットまたは開口に進入する、第２の位置へと、回転されるように構成される、請求項３０に記載の装置。

【請求項３２】
前記細長い部材および前記シースのうちの少なくとも１つは、前記少なくとも１つの突出が、前記少なくとも１つのスロットまたは開口に進入しない、第１の位置から、前記少なくとも１つの突出が前記スリットまたは開口に進入する、第２の位置へと、平行移動されるように構成される、請求項３０に記載の装置。
【請求項３３】
前記細長い部材は、前記少なくとも１つの突出が前記少なくとも１つのスリットまたは開口に進入する時に、該細長い部材の前記遠位部分が前記係止要素から分断するように構成される、請求項３０に記載の装置。
【請求項３４】
細長い部材と、
少なくとも１つの融合領域によって該細長い部材に解放可能に連結される、係止要素であって、該係止要素は、テザーを固定するように構成される、係止要素と、
該細長い部材の少なくとも一部分を包囲するシースと
を備え、該シースは、該シースが少なくとも部分的に該細長い部材から引き出され得るように、構成される、装置。
【請求項３５】
前記融合領域は、破壊されて、前記係止要素を前記細長い部材から分断するように構成されている、請求項３４に記載の装置。
【請求項３６】
細長い部材と、
該細長い部材の少なくとも一部分を包囲するシースと、
中空領域を有する係止本体と、該中空領域内に少なくとも部分的に嵌合するように構成されるプラグと、該係止本体を覆って少なくとも部分的に嵌合するように構成される、少なくとも１つの係止構成要素とを備える、係止要素と
を備え、該係止本体は、該細長い部材に解放可能に連結され、該係止要素は、該プラグと該係止本体との間でテザーの第１の部分を固定し、該係止本体と該少なくとも１つの係止構成要素との間で該テザーの第２の部分を固定するように構成される、装置。
【請求項３７】
前記係止本体は、それを通るテザーの通過のために構成される第１および第２の開口を有する、壁部分を備える、請求項３６に記載の装置。
【請求項３８】
前記少なくとも１つの係止構成要素は、前記係止本体を覆って部分的に嵌合する時に、前記第１および第２の開口を被覆するように構成される、請求項３７に記載の装置。
【請求項３９】
前記シースは管腔を備え、前記少なくとも１つの係止構成要素は、該管腔内に少なくとも部分的に配置される、請求項３６に記載の装置。
【請求項４０】
前記シースは、管腔を備え、前記少なくとも１つの係止構成要素は、該管腔内に完全に配置される、請求項３６に記載の装置。
【請求項４１】
前記シースを引き込むことは、前記少なくとも１つの係止構成要素を前記係止本体を覆って少なくとも部分的に嵌合させる、請求項３６に記載の装置。
【請求項４２】
前記係止本体が、前記少なくとも１つの係止構成要素内に少なくとも部分的に嵌合するように、該係止本体を押すように構成される、押込部材をさらに備える、請求項３６に記載の装置。
【請求項４３】
前記少なくとも１つの係止構成要素は、リングの形態である、請求項３６に記載の装置。